

大学

企画課管理用 管 ー D ー 3

推進主体	学長室経営企画課
責任者	学長室部長

分類	実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
管 ー D	③大学の周年事業への対応	令和 4 年度	令和 6 年度	なし

① 目的・内容

2039(令和21)年度に本学があるべき姿＝ビジョンを実現するため、大学の周年事業への対応を検討し、その実施に向けた取り組みを進める。

新制大学として開学した1949(昭和24)年4月1日(設置認可は1949年2月21日)を起点とすると、2022(令和4)年4月1日で73周年(74年目)となる(2024年に75周年、2029年に80周年、2034年に85周年、2039年に90周年、2049年に100周年)。本学として今後の周年事業にどのように取り組むかを検討し、全学的に合意形成を図ること、そして、決定した事業計画実行に向け、準備に着手する。

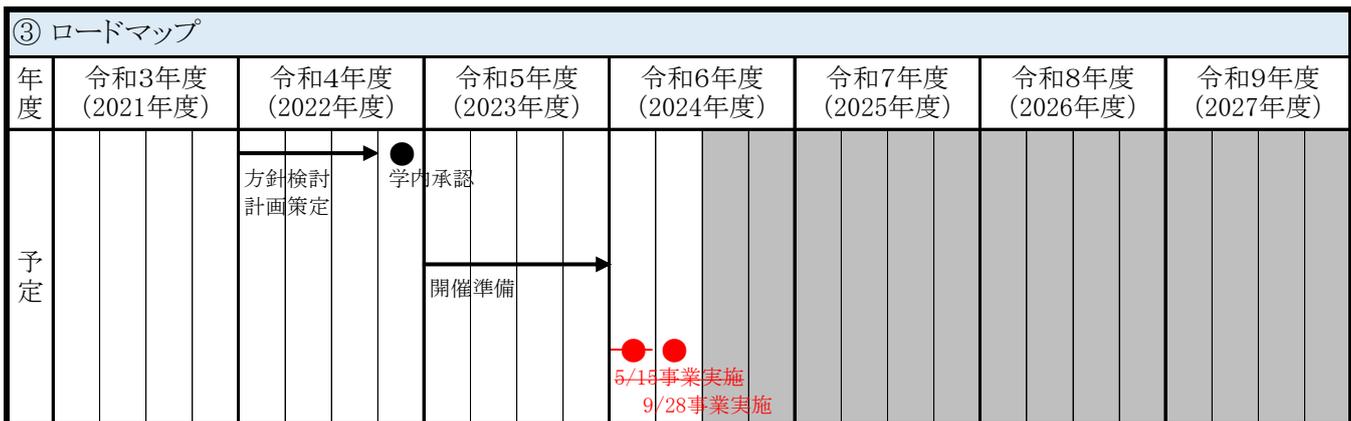
<参考>

1999年(平成11)年5月15日、学習院大学開学50周年記念式典挙行、「学習院大学の50年 写真と図録」刊行、2000(平成12)年3月「学習院大学五十年史 上巻」刊行、2001(平成13)年10月「学習院大学五十年史 下巻」刊行  
 ※1994(平成6)年に大学五十年史編纂委員会設置、同年に大学五十年史編纂室設置

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

大学の周年事業に対する考え(方針)を確認したうえで、計画(事業内容)を検討し、実施に向けた準備に着手する。

方針確認(今後の周年事業にどのように対応するか)ー直近の事業実施時期確認(何周年に事業を行うか、直近はいつ行うか)ー事業内容検討・策定(どのような事業を行うか)ー事業実施準備(準備体制、スケジュール等確認、準備着手)ー事業実施



④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

(様式2) 実施計画書 兼 報告書

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和4年度 (2022年度)	本学における周年事業に対する考え(方針)及び計画(事業内容)に係る検討について、学長より基本計画策定委員会へ諮問し、必要に応じて小委員会を設け、検討に取り組む。答申の提出期限は令和4(2022)年度中とする。	令和4年6月27日開催の専門職大学院研究科長会議及び学部長会議において令和6(2024)年度に75周年記念事業実施を提案・各部門への意見聴取を実施。寄せられた意見に対して補足説明を加えた上で、7月18日開催の同会議において議場に諮り、原案のとおり計画が承認される。なお、事業実施年度が確定したことを受け、③ロードマップを修正(本計画の完了年度を令和9年度から令和6年度に変更)。  ★進捗段階:「意思決定」
令和5年度 (2023年度)	令和6年5月15日に75周年記念事業実施に向け、事業内容検討、開催準備(令和5年度中に必要経費の予算要求を行う)。	令和6年度の学年暦案に基づき、記念事業の実施日を令和6年5月25日(土)午後に変更することを、令和5年9月18日開催の専門職大学院研究科長会議及び学部長会議にて提案し、学内の了承を得た。また、令和6年度の中期計画推進予算にて開催経費を予算要求し、一部減額となるも承認される。予算確保の見通しが立ったため、記念式典等の企画・運営業務を外部企業に委託することとし、令和5年度中より打ち合わせを開始、記念事業の詳細について検討を進める。  ★進捗段階:「実施展開」
令和6年度 (2024年度)	令和6年5月25日に75周年記念事業実施に向け、事業内容検討、開催準備を進める。	計画準備の事情から、事業の実施を令和6年9月28日に変更した。以降、事業内容の検討を進め、学習院大学開学七十五周年記念式典及び卒業生特別講演「Technology & Art」の開催を決定し、計画を進めた。9月28日、記念式典には文部科学大臣(代理・文部科学省高等教育局長)、私立大学連盟会長、四大学学長等来賓に登壇いただき、特別講演にはJAXAの徳川直子様、川崎市岡本太郎美術館の土方明司様に講演いただいた。また、行政庁、学校法人・私立大学関係団体の関係者や、学生、保証人、卒業生、本院関係者に来場いただき、事業を実施した。  ★進捗段階:「計画達成」

⑥ 計画の成果・今後の方針 ※計画を中止する場合はその理由を記載のこと。	
<p>新制大学としての開学年度である昭和24(1949)年を起点とした、大学の75年目となる周年記念事業を令和6年度に実施した。令和9(2027)年に学校法人として創立150周年を迎えるにあたり、学校法人での周年記念事業も計画されていることから、法人与大学、両事業の盛会を企図し、連携をはかりながら進化した。また、計画段階で事業の実施時期を検討した際、80周年や90周年、100周年を実施時期とする案もあったが、50周年の記念事業を実施していること、100周年には何かしら記念事業に取り組む必要があるとの考えから、学習院大学グランドデザイン2039(Gakushuin U. Grand Design 2039)における取組みの一つとして、中間点である75年の節目で記念事業を実施したことは時期として相応しかったと考える。令和6年9月28日は、学外及び学内から多くの出席者を迎え、75周年を記念する式典をとり行うことができた。特別講演では異なる分野で活躍される卒業生に講演いただき、出席した在学生にとっても有意義な時間となった。</p>	
<p>※計画完了時点で記載してください。 ○…必須事項 △…必要に応じて記載                  ○②到達目標に対する結果                  ○計画の中止理由(※中止する場合)                  △今後の見通し・課題(通常事業化など)                  △その他</p>	